

# 2020年 大阪大学

## ①大問3問

文学部と外国語学部の問題は大問Ⅰ・Ⅱは同じ、大問Ⅲだけ違う

大問Ⅰ・Ⅱは東洋史・西洋史が1問ずつ

大問Ⅲは文学部が19～20世紀の世界、外国語学部がほぼほぼ戦後史 \*2018・2019年は同じ問題

## ②レベル

山川用語集赤字(85%以上が頻度4以上)

## ③問題形式

100～200字が6～8問(半分がタテやヨコのテーマ史)、短答問題は4～5問(10～15点程度)

## ④出題ポイント

全く同じ問題は出題されないが、文章要素(パーツ)が同じモノが多々出題されるので、できる限りたくさんの過去問を熟読することが重要(4～6年に1回、同じパーツを繰り返すので、販売されている〈過去5年間の過去問〉では同じパーツを当てることはできない)

## ⑤超注意事項

ここ3～4年で出題傾向が徐々に変化してきている。200～300字がたくさん出題された時代とは対策方法は大きく異なった。しかし、出題される〈内容〉は阪大らしさを残しているの、決して過去問を疎かにしてはいけない。ただ、同じ形の出題があるわけではないので、〈添削記述〉をするよりも、設問→解答の〈熟読〉で〈パーツ〉を覚えていく勉強が重要となる。

過去問は字数を見るのではなく、単元や分野やテーマに着目したい！しかも、近年ではなく、5年前以上のモノがリメイクされることが多いので、せめて問題だけでも入手したい！

## ⑥対策の狙い

### 1)中国史

中国王朝と周辺民族や国家の関係 \*北方民族や朝鮮半島や東南アジア

文化史は学問と思想が中心 \*儒学・道教・仏教・キリスト教

社会経済や法制関連の問題が多い \*農業・商工業・貿易

## 2)他のアジア史

インド史・イラン史・パレスティナ史・トルコ史・ベトナム史・ジャワ史など

16～19 世紀の列強によるアジア・アフリカ植民地化と抵抗運動

民族・宗教問題と紛争関連

## 3)西洋史

建国の背景・分裂の様子・戦争の流れ・対立の状態・支配方法などが論述化される

定期テスト的な学習で得点できるスタンダードな内容      \*用語の説明より意義や結末

## 4)テーマ史

戦後史よりは文化史の方が危ない      \*政治と文化のかかわり

民族&宗教&性別の差別・芸術と科学技術の意義・文字&貨幣&暦の変化と比較など